

【日住研修（基礎編） 個別支援計画事例1】

ケース概要

- ・Aさん
- ・60代前半、男性
- ・施設の人員体制：15：1（夜勤なし・食事提供あり）
- ・入所後1か月経過の状態

<生活歴>

高校卒業後にX県へ行き、土木の仕事に就くが先輩からの指導が厳しく3年程で退職。その後、飲食関係の仕事に就くが長くは続かず、仕事を転々としていた。住むところもなくネットカフェや友人宅にいた。実家に帰ろうとも考えたが、両親との折り合いも悪く長く疎遠だったため、実家に帰ることもできずに、X県で生活保護を受給しながら生活をしてきた。

もともとギャンブルが好きで、パチンコ屋にいたことが多かった。40歳の時にパチンコ屋で知り合った女性と結婚。子ども（息子1人）もできたので家族のために頑張ろうと思い、稼ぎのいいトラック運転手の仕事に就いた。はじめはパチンコも辞め、仕事を頑張っていたが、妻とのケンカが増えたことと、仕事のストレスにより給料をパチンコで使ってしまうことが何度かあり50歳後半で離婚。

その後、建設業や土木等の寮付き就労を転々としていたが、人間関係と体力の限界で退職。再度生活保護を受けながらアパート生活を始めたが、パチンコや家賃、公共料金の滞納などで強制退去になり住むところが無くなりシェルター入所。

<日住への相談経緯>

離婚してから、怠け者、役立たずなどの幻聴が聞こえ、いつも人に見られ、監視されているように感じていた。外出することも嫌になり、思うように生活ができない不安を感じ、何とかしたいという思いはあるとのこと。本人、自立相談支援センター、シェルター運営法人スタッフで話し合い、福祉事務所に相談。B日常生活支援住居施設で生活することになった。

<今後の意向>

- 1人での通院は不安があるが、病院を受診したい
- アパートでひとり暮らしがしたい

<趣味・嗜好>

- ・パチンコが好き
- ・タバコを吸う
- ・飲酒なし

<既往歴・現症>

- ・通院歴なし（精神科・内科）
- ・手帳なし

シート 1-1

アセスメントシート

金銭管理	<ul style="list-style-type: none">・給料の半分以上はパチンコに使っていたため、いつも生活には余裕がなかった。お金の管理が苦手。・家賃・公共料金などの滞納により強制退去になったことがある。給料や生活保護が入っていた通帳を無くしてしまったので、再発行したい。・お金が足りない時、携帯代払いで買い物をしていたため、いつも携帯代の支払いはできてはいたが大変だった。・アパートで1人暮らしがしたい。
健康管理 ・ 衛生管理	<ul style="list-style-type: none">・怠け者、役立たずなどの幻聴が聞こえ、いつも人に見られ、監視されているように感じていた。・外出することも嫌になり、思うように生活ができない不安を感じ、何とかしたいという思いはある。・入浴や着替えがおっくうだったり、掃除が苦手なので衛生面を気にかけることはなかった。
安全管理	<ul style="list-style-type: none">・毎日タバコを吸う。今まで居眠りなどで布団を焦がすという事はなかった。・今は、施設内の喫煙スペースで吸っている。本数も減らしたいと思っている。
理解 ・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">・人と話すことは得意ではない。仕事も長くは続かず、職を転々としていた。・人と話すということに不安があり、笑うことはない。・支援員に対しては、会釈をしたり挨拶はできる。

シート2

課題・希望整理シート

	1 (課題) 本人	2 (希望)	3 (目標)	4-1 (支援内容)	4-2 (担当)
金銭管理 (A)					
健康管理 (B)					
炊事・洗濯 等 (C)					

シート3

日常生活支援住居施設 個別支援計画

利用者氏名	様	生年月日	年 月 日	計画 No.	第 回目
事業所名		個別支援計画 作成担当者名	生活支援提供責任者 氏名:	計画作成日	年 月 日

1	入所者の生活 に対する意向	9	総合的な支援 の方針
---	------------------	---	---------------

生活全般の質を向上させる ための課題（ニーズ）	日常生活及び社会生活 上の支援の目標（課題 に対する目標）	達成時期 （期間）	支援内容・方法等			備考 （留意事項）
			内容	方法	提供機関 担当者	
2	3	4	5	6	7	8

【同意書】

私は、上記の個別支援計画について説明を受け、
これに基づいて支援が行われることに同意しました。

年 月 日

本人 印
 代理人等 印

【日住研修（基礎編） 個別支援計画事例 2】

ケース概要

- ・ Bさん
- ・ 20代女性

※施設の人員体制が10対1（宿直無し、食事提供なし）の場合を想定して事例を作成しています。居室はマンションの個室タイプ（キッチン、風呂、トイレあり）です。

<生活歴>

幼少期に両親が離婚し、母子家庭となる。5歳上の兄あり。母は心疾患による障害年金とパート等による収入。兄は高校期よりひきこもりとなり、Bさんに暴言や暴力をふるうこともあった。母は家事や掃除をほとんどせず、ゴミ屋敷状態。Bさん自身も洗濯できておらず、制服が汚れていたり、臭いがすることもあった。

私立高校に進学するが、成績は下位。出席日数が足りず、留年しそうにもなった。学校ではほとんど笑わず、友達もほとんどいない。高2時に制服などの清潔保持ができておらず、また家庭訪問しても、ゴミ屋敷で、母もまともな対応をしなかったため、学校より児童相談所に相談。ネグレクト案件として、児童養護施設入所となった。

児童養護施設では、職員の指導のもと、部屋の掃除や洗濯も何とかしていた。また食事も三食取れるようになり、顔色もよくなった。入所中、母は面会に来なかった。

<相談経緯>

就職活動は、学校紹介で、寝具製造・リースを取り扱う会社に就職し、社員寮に入った。作業指示がよく理解できず、作業もミスが多く、注意されることも多かった。また職場の同期との付き合いもなかった。半年ほどは何とか続いていたが、欠勤が多くなり、職場から学校や施設に連絡があり、施設職員が訪問するなどのフォローをしていたが、20歳になる4月に合意退職。社員寮も出ることになり、施設職員が生活保護申請同行を行う。社員寮でもゴミ屋敷状態で、スマホ依存の傾向もあり、施設職員、保護課ともに、早期の独居は困難との見解で、日常生活支援住居施設への入所を勧められた。

<今後の意向>

- ・ 生活のリズムと状況を整え、自分のペースにあった仕事を見つきたい。
- ・ 一人暮らしができるようになりたい。

（本心は、「面倒と思うことがたくさんある。片付けもきれいにしないといけないとは思っているけど、面倒。今まで生きて来れたし、これからも何とかなるだろう。」と思っている？）

<既往歴・現症>

- ・ 食事や生活習慣の乱れによるものか生理不順や不眠の訴えあり。職員が受診同行している。
- ・ 小学校低学年に知的障がいの可能性を指摘されたが、未取得。判定申込みを行っている。

シート 1-1

アセスメントシート

金銭管理	<p>当初2週に1回の金銭管理を1週に1回に変更している。 寮費の滞納（2か月分、児童養護施設の施設長が立て替え） →分割返済により完済。 スマホ料金滞納分の分割返済により貯蓄はなし。 貯金をして、買いたいものがある。 将来的には自分で管理できるようになりたい。</p>
健康管理 ・ 衛生管理	<p>精神科と内科への受診同行をしている。一人でも行くことはできるが、症状などをうまく説明できない。 部屋が散らかっており、臭いもする。支援員から整理整頓を促される。部屋が片付くのがよいのはわかっているが、面倒くさくて、このままでいいじゃん、と思っている。 一人暮らしできるようになりたい。</p>
炊事 洗濯 等	<p>自炊はほとんどできない。いつも近くのコンビニで好きなものを買っており、お菓子が多い。 洗濯は支援員に促された時だけする。洗濯物がたまっている。 一人暮らしできるようになりたい。</p>
安全管理	<p>火の取り扱いなど、特に危険になる行為はみられていない。</p>
理解 ・ コミュニケーション	<p>人見知りがあり、あまり笑わない。初対面の人などとのコミュニケーションには過度に緊張する様子がみられている。 支援員に対しては自ら挨拶できるようになり、相談もできるようになりつつある。 近しい友人はいない。</p>

就労支援	スマホ料金や借金返済もあるので、就労して収入を増やしたい。好きなこと、自分のペースでできる仕事につきたい。過去に仕事が続かなかったことは不安。
その他	療育手帳を取得しておらず、社会資源の活用ができていない。療育判定申込み済み。 「一人暮らしをしたい」との発言はあるが、一人暮らしができるためには何が必要か、のイメージがあいまい。

【日住研修（基礎編） 個別支援計画作成事例 3】

ケース概要

- ・ Cさん
- ・ 60代後半、男性
- ・ 人員配置：5：1（宿直あり・3食提供）
- ・ 日住入所3週間

<生活歴>

高校卒業後、50歳半ばまで非正規の仕事を転々としていた。結婚歴はなし。リーマンショックの後に失職し、社員寮を退去。支援団体に相談し、生活保護の受給を開始した。

<相談経緯>

生活保護受給後はしばらく簡易宿泊所で暮らしていたが、福祉事務所よりNPOの就労支援プログラムを紹介され、無料低額宿泊所に転居した。

生業扶助を受け、新たな資格を取得。NPOが雇用先とマッチングし、生活保護を受けながら10年ほどパートタイムで就労した。その間に、無料低額宿泊所からアパートに転宅。既往症に糖尿病があるため、フルタイムでの就労には至らなかった。

X年に脳梗塞を起こし、片麻痺の後遺症が残った。就労が困難となり、療養に専念するため退職。介護保険の認定を受け、訪問サービス、通所サービスを利用したが、やがて食事や服薬が不規則となり入院。退院後は24時間サポート体制のある日常生活支援住居施設に入居することとなった。

<今後の意向>

規則に縛られず、自由に行動したい。遠方の介護施設も紹介されたが、住み慣れた今の地域で暮らし続けたいと断った。退院後はADLの低下がすすんでいるため、食事の提供、服薬のサポート、福祉用具の利用に加え、在宅医療、訪問リハビリを導入する。当面は日常生活支援住居施設の職員が生活を支援しながら、必要なサービスを利用できるよう、要介護の区分見直しも含め関係機関と相談していく。

<既往歴や病気、その他>

- ・ 脳梗塞後遺症（片麻痺）
- ・ 高血圧
- ・ 糖尿病
- ・ 要介護2
- ・ 歩行時にふらつきが見られ、転倒リスクがある。屋内は杖歩行、外出時は車いすを使用。

シート 1-1

アセスメントシート

金銭管理	<ul style="list-style-type: none">・ アパート生活をしていた時は、家賃の滞納や金銭管理の問題はなかった。今後も、日常のやりくりは自分でやっていきたい。・ 通院時の交通費やリハビリパンツの代金など一時的な出費が増え、扶助の申請手続きが追いつかない。手続きのサポートや代行は支援してほしい。
健康管理 ・ 衛生管理	<ul style="list-style-type: none">・ 服薬に関しては一包化での対応になっているが、飲み残しがあるので、職員による声かけ、見守りが必要。・ 体調がすぐれない時は欠食してしまうことがある。低血糖発作には注意が必要。・ お部屋は自分が暮らしやすいよう配置を工夫している。ゴミ捨ては自分でできないので、ヘルパーが来ない日は回収してほしい。
炊事 洗濯 等	<ul style="list-style-type: none">・ 介護保険サービスの買い物同行は回数が少ない。時々でいいので、職員に代行してほしい。・ トイレに間に合わず、服を汚してしまうことがある。時間をかければ自分で洗濯できるが、歩行に不安があるときは手伝ってほしい。清拭はなるべく自分でやるが、届かないところは手助けしてほしい。
安全管理	<ul style="list-style-type: none">・ 4点杖を使用しているが、歩行時に大きくふらつくことがあり、転倒のリスクがある。・ 入居後に居室で喫煙していたので、喫煙所で吸うよう規則を再確認した。とはいえ、歩行が難しく喫煙所まで行けない時もある。

<p>理解 ・ コミュニケーション</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 他の入居者とは挨拶程度の付き合い。詳細は不明だが、かつてアパートの隣人と口論になったことがあるという。・ 職員には、仕事をしていた時の仲間のことや思い出を話してくれることがある。・ 本が好きで時々図書館に行きたいようである。デイサービスで遠足に行ったのも楽しかった様子。・ 最近、物忘れが増えたと自覚している。書類をなくしたり、手続きを忘れてしまうことがある。
-------------------------------	---